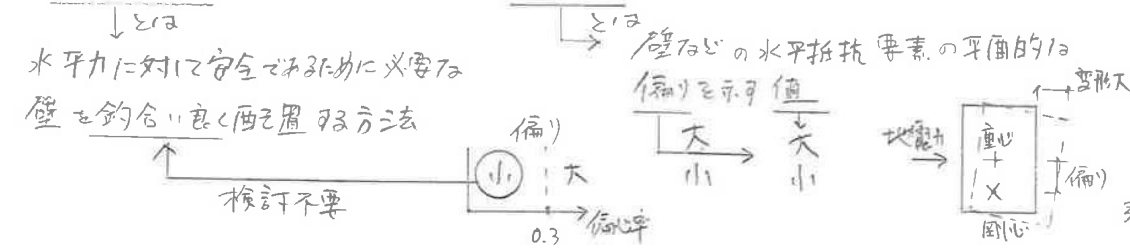


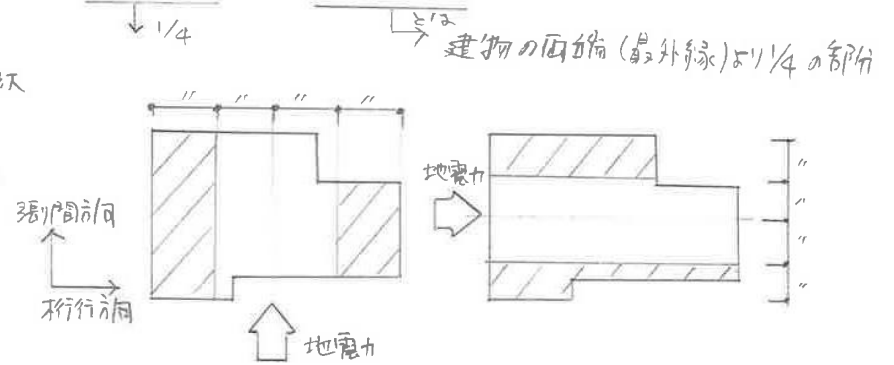
平成26年 NO.10 木造軸組工法の4分割法

1. 4分割法による壁の設置と偏心率 → 偏心率が0.3以下であることを確認 (た場合は、4分割法による検討は不要)
2. 4分割法における側端部分 → 建物の両端 (最外縁) より $1/4$ の部分
3. 壁率比と壁量充足率 → 各側端部分の壁量充足率が1を超えていなければ壁率比0.5未満であればよい。
4. 側端部分の階数が異なる場合の必要壁量 → 建物全体の階数ではなく、当該側端部分の階数に基づき必要壁量を算出する

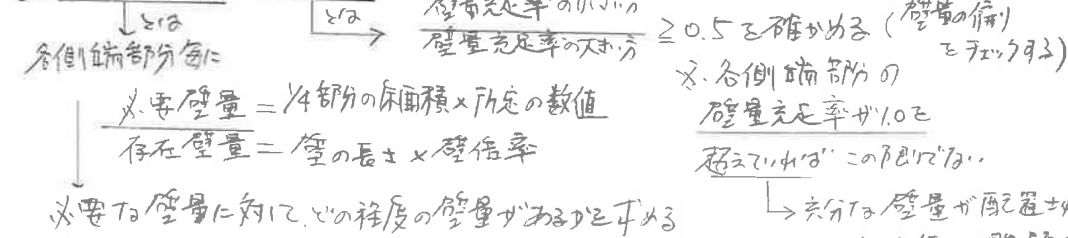
1. 4分割法による壁の設置と偏心率 令46条第4項、告示1352号



2. 4分割法における側端部分



3. 壁量充足率と壁率比



4. 側端部分の階数が異なる場合の必要壁量

